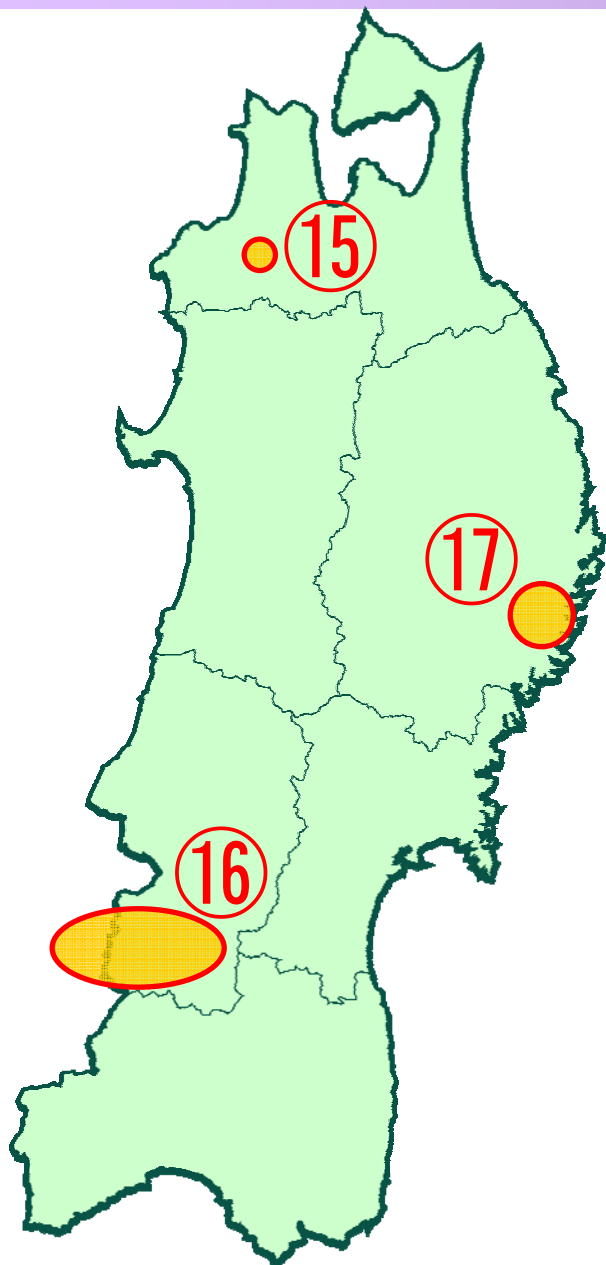


平成20年度  
新規登録ルートへの申請概要

# 応募ルート一覧 ～東北地方～

TOUHOKU



## 東北風景街道協議会に登録申請があったルート

	風景街道名称	パートナーシップ名称	中心となる道路 (主な路線)	県名
⑮	弘前まちなか 散策街道	弘前市中心市街地 活性化協議会	(主)弘前・岳・鱒ヶ沢線、 (市)駅前広場・土手町線	青森
⑯	越後米沢街道・十三峠	越後米沢街道・十三峠 交流会	国道113号	山形・ 新潟
⑰	釜石 「鉄のみち」	釜石鉄のみち ネットワーク	国道283号、国道45号、 主要地方道遠野釜石線	岩手

※番号は登録申請受付順

# 弘前まちなか散策街道

NO.1

TOUHOKU

## 活動目的

中心市街地の道路を1つの舞台と捉え、広場や店舗は大道具、街灯やフラッグ等は小道具、街角ライブなどは音響、ライトアップは照明、商店主は助演者・スタッフに見立てて、津軽地域の政治・経済・文化の中心都市として発展してきた当市の歴史や文化などを活用しながら、地域住民も観光客もともに共感・共鳴できる感動と交流の場を創出し、道路が秘める新たな魅力づくりを推進する。

## 中心となる道路および活動範囲

JR弘前駅から弘前公園までの(主)弘前・岳・鱒ヶ沢線及び(市)駅前広場・土手町線をはじめとする道路とその沿道を含む区域

## 構成団体 ～風景街道パートナーシップ～

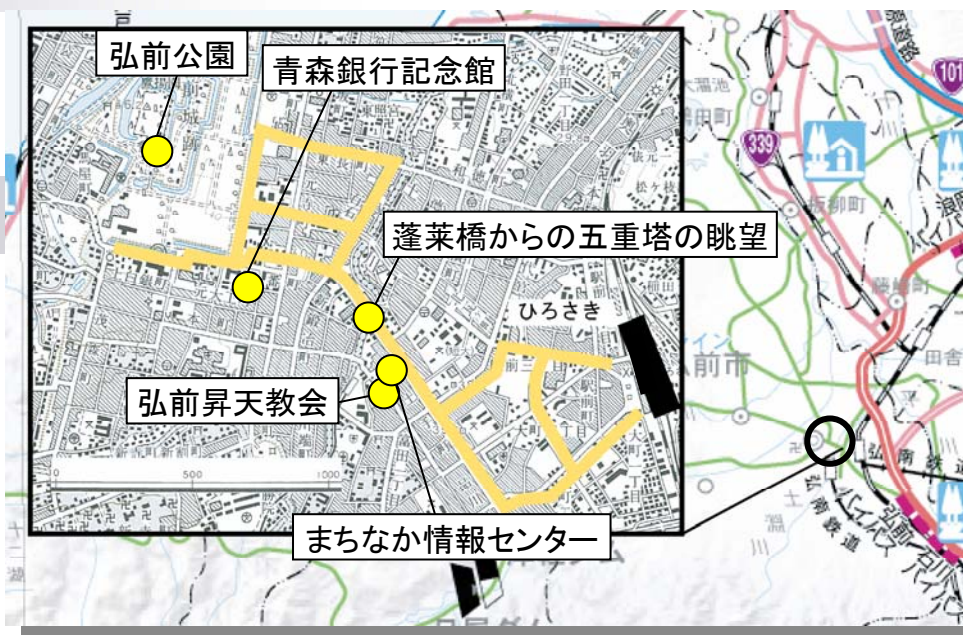
名称：弘前市中心市街地活性化協議会  
(代表者：新戸部 満男)

### 【道路管理者以外の組織】

弘前商工会議所、NPO法人コミュニティネットワークキャスト、弘前駅前商店街振興組合、大町商店街振興組合、上土手町商店街振興組合、中土手町商店街振興組合、下土手町商店街振興組合、百石町振興会、弘南バス(株)、弘南鉄道(株)、(株)アップルコミュニケーションズ、弘前中央食品協同組合、津軽弘前屋台村協議会、社団法人弘前観光コンベンション協会、国立大学法人弘前大学、NPO法人harappa、NPO法人スポネット弘前、NPO法人弘前子供コミュニティピーぷる、NPOふれーふれーファミリー、ギャラリーネットワークひろさき、社団法人弘前青年会議所

### 【道路管理者】弘前市

(オブザーバー)青森県中南地域県民局



## 地域資源

### ■ 景観資源

国史跡弘前公園や国指定重要文化財最勝院五重塔などの眺望  
弘前昇天教会や青森銀行記念館などの歴史的建築物

### ■ 施設・情報資源

4商店街組織、市まちなか情報センター



**▲ 青森銀行記念館**  
青森県初の国立銀行(旧第五十九銀行)の本店として1904年(明治37年)に完成した建築物である。国の重要文化財に指定されている。太宰治で知られる斜陽館の設計者でもある堀江佐吉という人物が設計を行っている。館内は一般公開されている。



### ▲ 国史跡弘前公園

津軽統一を果たした津軽氏の居城、弘前城天守や、櫓、城門が、当時の姿を今に伝える城趾を整備してできた公園。49ha。春は約50種2600本の桜が咲き誇る。「日本の都市公園100選」に選ばれている。

## 活動内容

- 「まちかど広場」の設置
- よさこい津軽、じょっぱれ弘前の開催
- 歩行者天国定期開催の検討・実証実験 (H20~H24)
- まちなかイメージアップフラッグ作成・検討 (H20~H24)
- 沿道装飾用植物の検討 (H20~H24)



### ▲ 「まちかど広場」の設置

市内7ヶ所に、景観に配慮したベンチやトイレ、水飲み場等が整備された街角広場を設置し、「まちかど広場クリーン大作戦」などのイベントも開催している。



### ▲ よさこい津軽

「黒石よされ」や津軽富士(岩木山)を踊りのテーマに取り入れるなど、弘前独自の文化が融合させて誕生したよさこい祭り。

### 今後のスケジュール

事業内容	H20	H21	H22	H23	H24
歩行者天国定期開催事業内容の検討					
歩行者天国定期開催実証実験					
まちなかイメージアップフラッグのデザイン、設置場所等の検討					
まちなかイメージアップフラッグ実証実験					
沿道装飾用植物等のデザイン、設置場所等の検討					
沿道装飾用植物等設置実証実験					

# 弘前まちなか散策街道

NO.3

TOUHOKU

## 登録申請内容 チェックリスト

評価例：○→満足している、×→不十分である

登録条件		申請申請及び確認事項	判定
1	風景街道パートナーシップが組織されている	弘前市中心市街地活性化協議会（道路管理者以外として「弘前商工会議所」など、道路管理者として「弘前市」などで構成）	○
2	日本風景街道の地域資源のうち、いずれか一つ以上の資源を申請している「風景街道」に有している	景観資源である、「弘前公園」や「青森銀行記念館」などは、中心となる道路沿いにあり、「五重塔」は中心となる道路から離れているが眺望が可能である。	○
3	風景街道パートナーシップが日本風景街道の理念に賛同し、それらに合致した活動を継続的に実施している	「道路を1つの舞台として捉え、地域住民、観光客ともに共感・共鳴できる感動と交流の場を創出する」などの活動目的が、日本風景街道の理念に合致している。特に、構成団体の各商店街振興組合は、これまでも中心となる道路を舞台とした祭り「よさこい津軽」を開催し、多くの参加者・観客が楽しめる活動を展開している。	○
4	申請している「風景街道」に「中心となる道路」が存在している	<ul style="list-style-type: none"> <li>（主）弘前・岳・鱒ヶ沢線 弘前市街地を通過する幹線道路であり、沿道は上土手町、中土手町、下土手町の商店街をで構成されるルート。</li> <li>（市）駅前広場・土手町線 弘前駅～土手町商店街を結ぶ街路であり、沿道は商店街で構成されるルート。</li> </ul>	○
5	風景街道パートナーシップに暴力団その他の反社会的活動を行う団体が含まれていない	含まれていない	○
6	風景街道パートナーシップが特定の政治的及び宗教的信条にもとづく活動を行っていない	政治的・宗教的信条にもとづく活動を行っていない	○

活動にあたってのアドバイス

- ・ 散歩道というコンセプトは良いが、来訪者が求める観光・文教都市としての弘前らしさを感じる資源と活動の繋がりが見られない。歴史的建造物を活かすなどの展開が必要と思われる。



## 地域資源

### ■自然資源

赤芝峡、玉川渓谷、片洞門

### ■歴史資源

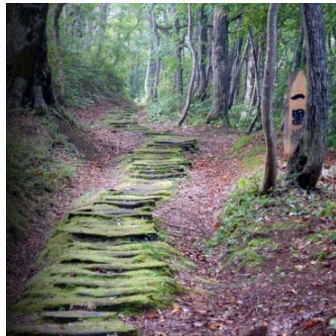
越後米沢街道、イザベラの道

### ■体験交流資源

健康の森横根(朴ノ木峠)

### ■施設・情報資源

道の駅いいで 道の駅白い森おぐに



### ▲黒沢峠敷石道

「越後街道」十三峠のひとつであり、敷石が長い間土に埋もれていたが、昭和55年に黒沢集落の人びとによって保存会が結成され、覆土を除去し、往時の姿に整備する活動が始まった。



### ▲赤芝峡

秋の紅葉の名所。磐梯朝日国立公園に属する荒川峡のなかで、最も紅葉が美しいとされる峡谷。遊歩道が整備されている。

明治11年には、イギリスの女性紀行家イザベラ・バードが訪れ、その時の黒沢峠周辺の村の風景や生活の様子が「日本奥地紀行」に記されている。

## 活動内容

- 街道整備(保全・調査復元活動) (H20~H24)
- 地域内交流(ウォーキングイベント・峠まつり等) (H20~H24)
- 東北街道交流事業 (H21~H24)
- フォトコンテスト (H21~H22)
- パンフレット作成 (H22~H23)



### ▲ウォーキングイベント

H20年6月に「ツデーウォーキング」を開催。50名余の参加者が、イザベラ・バードが歩いたいにしへの峠道を歩いた。



### ▲峠の復元活動

H20年7月に通算3回目となる萱野峠の「敷石惚れ掘れ探検隊」を開催。50名余の参加者が敷石の掘り起こし作業を行った。

### 今後のスケジュール

事業内容	H20	H21	H22	H23	H24
街道整備					
地域内交流事業					
東北街道交流事業					
フォトコンテスト					
パンフレット作成					

## 登録申請内容 チェックリスト

風景街道名称：越後米沢街道・十三峠交流会		
判定例：○→満足している、×→不十分である		
登録条件	申請および確認事項	判定
1 風景街道パートナーシップが組織されている	越後米沢街道・十三峠交流会（道路管理者以外として「NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊」など、道路管理者として「山形河川国道事務所」「新潟国道事務所」「羽越河川国道事務所」で構成）	○
2 日本風景街道の地域資源のうち、いずれか一つ以上の資源を申請している「風景街道」に有している	・自然資源である「赤芝峡」は中心となる道路沿いにある。 ・歴史資源である「越後米沢街道」は本ルート of 主要な活動場所であり、13の峠を有し、それぞれの峠において敷石の掘り起こし活動などが行われている。現国道113号と並行している峠も存在するが、ほとんどが離れたところにある。	○
3 風景街道パートナーシップが日本風景街道の理念に賛同し、それらに合致した活動を継続的に実施している	「現国道の旧街道を文化的・歴史的な地域振興資源として保存・整備し、さらなる活用を図り、官民協働のまちづくりを推進する」ことが活動目的としてあげられており、日本風景街道の理念に合致している。特に、構成団体の「ここ掘れ和ん話ん探検隊」は、これまでも峠の敷石の掘り起こし活動を実施しており、地域振興資源として活用している。	○
4 申請している「風景街道」に「中心となる道路」が存在している	・国道113号 新潟県新潟市を起点とし、福島県相馬市まで結ぶ延長232.8kmの国道であり、申請区間の新潟県関川村～山形県川西町間は主に山地部を通過するルート。 ※主要な活動場所である越後米沢街道は、今から約490年前（1521-1528）に当地方の戦国大名であった伊達植宗が羽後国境の峠を開いたとがその始まりとされ、1884年に現国道113号の旧道（新潟山形線）が開通するまで、米沢と新潟を結ぶ重要ルートであった。	○
5 風景街道パートナーシップに暴力団その他の反社会的活動を行う団体が含まれていない	含まれていない	○
6 風景街道パートナーシップが特定の政治的及び宗教的信条にもとづく活動を行っていない	政治的・宗教的信条にもとづく活動を行っていない	○
活動にあたってのアドバイス		
・十三峠や街道のすべてが現存しているわけではなく、これら埋もれた資源を探索していく活動に大きな意義が見出せる。 さらに、国道113号と古道との結びつきを強化する活動の展開が望まれる。		



## 活動目的

地域団体と連携し、近代製鉄に係る産業遺産とそれを支えた街道景観の保全と地域ツーリズムビジネスの振興により地域の活性化に寄与する。

## 中心となる道路および活動範囲

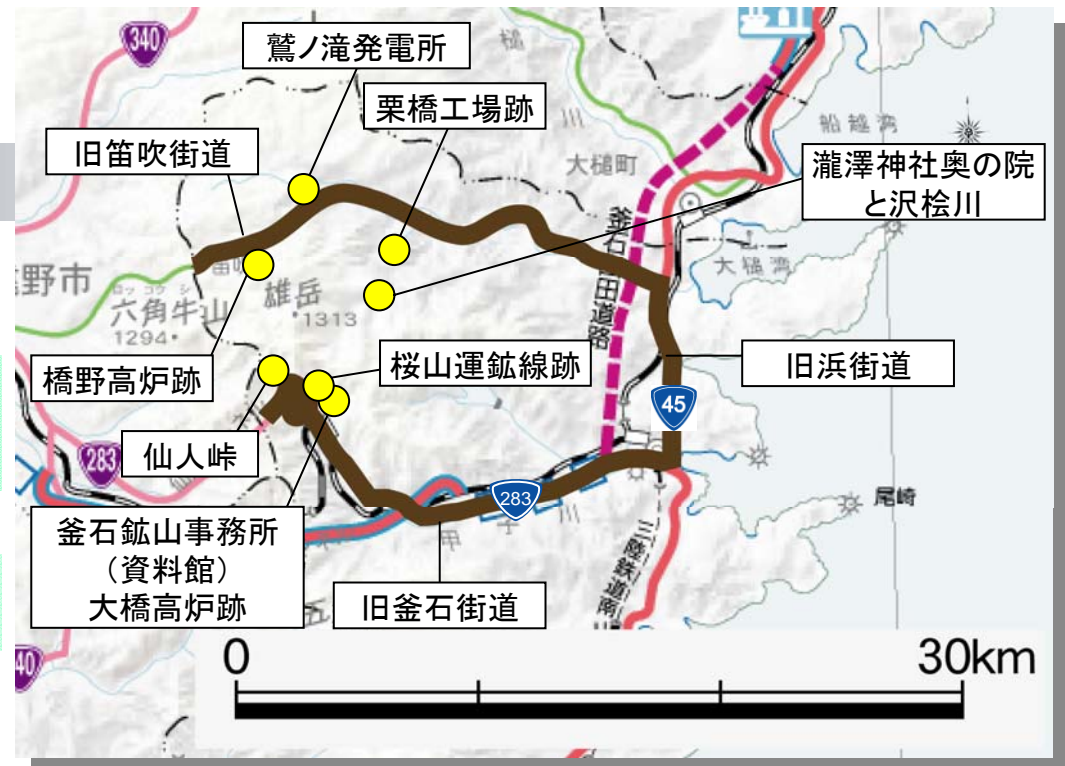
釜石市の国道283号～国道45号～主要地方道遠野釜石線

## 構成団体 ～風景街道パートナーシップ～

名称:釜石鉄のみちネットワーク  
(代表者:海野 伸)

【道路管理者以外の組織】  
いわて街道交流会、釜石市、特定非営利活動法人いわてNPOセンター

【道路管理者】  
岩手県釜石地方振興局、国土交通省三陸国道事務所



## 地域資源

### ■歴史資源

近代製鉄発祥地釜石鉱山を含む産業遺産群(橋野高炉跡、鷲ノ滝発電所、栗橋工場跡、大橋高炉跡、釜石鉱山事務所(資料館)、桜山運鉱線跡)

旧釜石街道、旧笛吹街道、旧浜街道

### ■景観資源

瀧澤神社奥の院と沢松川



### ▲釜石鉱山

明治から戦前にかけて名を馳せた日本有数の鉱山である。鉄以外に金・銀・銅・鉛なども産出していたが、平成5年に大規模な鉄鉱石の採掘は、終了している。現在は、研究用の鉄鉱石や鉱泉水などが採られている。



### ▲橋野高炉跡

万延元年(1860年)頃に完成したとされ、3基の高炉が確認されている。現存する日本最古の洋式高炉跡として、昭和32年には国の文化財(史跡)に指定されている。

## 活動内容

- 板野地区・大橋地区の勉強会 (H20)
- 地域資源を活用した商品造成 (H21~H22)
- ガイドの育成 (H22)
- 情報発信手法の検討 (H20)
- 街道歩き資源マップの作成 (H21)
- 案内板の検討・設置 (H20~H21)
- 地域ツーリズムの事業化 (H22~H24)
- 鉄のみち探訪会 (H20~H24)
- 鉄のみち資源調査 (H20~H24)



### ▲鉄のみち探訪会

近代製鉄に係る産業遺産を巡り、「鉄の歴史・文化」を学ぶと共に、地域の交流を深める活動を行っている。

### 今後のスケジュール

事業内容	H20	H21	H22	H23	H24
橋野地区・大橋地区の勉強会	■				
地域資源を生かした商品造成 ワークショップ		■			
地域資源を活用した商品造成			■		
ガイドの育成			■		
情報発信手法の検討	■				
街道歩き資源マップの作成		■			
案内板の設置準備	■				
協働作業での案内板の設置		■			
地域ツーリズムの事業化 (予約販売システムの構築)			■		
地域ツーリズムの事業化 (予約開始)			■		
地域ツーリズムの事業化 (本格支援体制構築)			■		
地域資源の保存利活用 (鉄のみち探訪会)	■	■	■		
地域資源の保存利活用 (次年度以降の企画策定)	■	■	■		
地域資源の保存利活用 (鉄のみち資源調査)	■	■	■		

## 登録申請内容 チェックリスト

判定例：○→満足している、×→不十分である

登録条件		申請および確認事項	判定
1	風景街道パートナーシップが組織されている	釜石鉄のみちネットワーク（道路管理者以外として「いわて街道交流会」など、道路管理者として「岩手県釜石地方振興局」などで構成）	○
2	日本風景街道の地域資源のうち、いずれか一つ以上の資源を申請している「風景街道」に有している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資源である「釜石鉱山（釜石鉱山事務所など）」や「鷲ノ滝発電所」などは中心となる道路沿いにある。</li> <li>・歴史資源である「橋野高炉跡」や景観資源である「瀧澤神社奥の院」は中心となる道路から離れたところにある。</li> </ul>	○
3	風景街道パートナーシップが日本風景街道の理念に賛同し、それらに合致した活動を継続的に実施している	「産業遺産とそれを支えた街道景観の保全と地域ツーリズムビジネスの振興により地域活性化に寄与する」という活動目的が日本風景街道の理念に合致している。特に、構成団体の釜石市は、これまでも釜石鉱山に関する遺跡調査・保全活動や産業遺産ツアーなどを開催しており、地域の遺産の保全と活用に力を注いでいる。	○
4	申請している「風景街道」に「中心となる道路」が存在している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道283号 岩手県釜石市と花巻市を結ぶ延長84.6kmの国道であり、申請区間の沿道は山地部を通過するルート。</li> <li>・国道45号 仙台市と青森市を結ぶ延長506.8kmの国道であり、申請区間の沿道は商業地帯を通過するルート。</li> <li>・（主）遠野釜石線 岩手県遠野市と釜石市を結ぶ幹線道路であり、申請区間の沿道は山地部を通過するルート。</li> </ul>	○
5	風景街道パートナーシップに暴力団その他の反社会的活動を行う団体が含まれていない	含まれていない	○
6	風景街道パートナーシップが特定の政治的及び宗教的信条にもとづく活動を行っていない	政治的・宗教的信条にもとづく活動を行っていない	○

### 活動にあたってのアドバイス

- ・日本の近代化の中で、「釜石」という土地と「製鉄文化」がどのような位置付けを担っていたかを理解していただく資料館の早期整理と運用検討が必要である。
- ・歴史を学ぼうとする壮年世代も多く、メニューの工夫と資源の紹介の仕方によって観光資源になっていく可能性は高い。